

フランス語学科		特任講師	A.コーベル	大学院の授業担当 無
教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	外国語科目に関して	2022年度～	<p>【フィードバックの徹底】 授業の始まりに課題を返却し、学生へ5分間講師からのフィードバックを読む時間を与える。各学生がわからない箇所がないかを確認し、フィードバックに対する質問を受け付けることで学生とのコミュニケーションに努める。結果、授業が進むにつれ、学生の積極的な授業への参加を増やし、授業内容の理解度の把握を行うことができた。</p> <p>また、期末レポートについては、レポートの提出期限を13週目に設定し、14週目の授業にて、成績評価を知らせる他、個人的な通期のフィードバックを行う。</p>	
2	「メディアのフランス語」の授業に関して	2022年度～	<p>【市民性の形成】 この授業では大学の役割の一つでもある市民の育成に力を入れた。政治知識量や政治に対する関心度が低いとされている若者に政治のことをより身近なものに感じてもらえるにはどうすれば良いのかを模索しながら、授業形成に取り組んだ。</p> <p>2022年のフランスの大統領選挙を機に、左派と右派とは何かをはじめ、フランスの政界に関する様々な課題を扱った。また、学生の能動的な学修を促進するために、各学生に対して、一人の大統領選挙候補者と一つの政策課題を調査し、発表する課題を与えた。これらの課題に取り組むことで、学生は候補者の公約を読み、ある政策争点をめぐって主要な政党の立場を理解できるスキルを身につけた。最後に学生に授業評価に関する調査を行ったところ、フランスの政治に限らず、日本の政治にも関心が高まったことがわかった。</p>	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1				
2				
3				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
1				
2				
3				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
1				
2				
3				
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)				
年月日		活動内容		
2018年～2021年		フランスの政治学会(AFSP) 正会員		
2014年～現在		フランスの日本研究学会(SFEJ) 正会員		
2019年～2020年		日本フランス語教育学会 正会員		
2022年～現在		国際ジェンダー学会 正会員		
その他				